

令和 4 年 9 月 3 日現在

機関番号：34416

研究種目：基盤研究(B)（一般）

研究期間：2018～2021

課題番号：18H00611

研究課題名（和文）泊園書院を中心とする日本漢学の研究とアーカイブ構築

研究課題名（英文）Studies on Japanese Sinology, Kangaku and its Digital Archive Building Centered on Hakuen Private Academy

研究代表者

吾妻 重二（AZUMA, JUJI）

関西大学・文学部・教授

研究者番号：20192982

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 12,600,000円

研究成果の概要（和文）：本科研「泊園書院を中心とする日本漢学の研究とアーカイブ構築」は、幕末から明治初期における大阪最大・最高の学問所であった漢学塾「泊園書院」に関する調査、研究である。

4年間の研究期間中、同書院を中心に近世・近代における日本漢学の歴史と展開、意義を学際的に究明するとともに、関連画像や文字データを整備した。また、これまで知られていなかった門人を数多く見出し、その影響力の大きさを明らかにした。また論文発表と学会発表を積極的に行うほかシンポジウムを2回開催し、展覧図録3点、論文集2冊、学術図書1冊を刊行した。さらにWEB泊園、泊園文庫デジタルアーカイブ等のサイトにより豊富なデジタル情報を一般公開した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

泊園書院の藤澤東ガイ〔田+亥〕、南岳、石濱純太郎らの学問・思想、カリキュラムや教育・経営方針、漢詩文や書画・印章等の芸術上のネットワーク、長期にわたる多彩な門人の輩出など、同書院の歴史と貢献度の大きさを解明できた。漢学という教養が日本の近世のみならず、近代においても重要な役割を担っていたことを明らかにした点にも大きな学術的意義がある。

このほか泊園文庫のぼう大な資料群をデジタルアーカイブとして一般公開したことも社会的に重要な意義をもつ。

研究成果の概要（英文）：This research project, “Studies on Japanese Sinology, Kangaku and its Digital Archive Building Centered on Hakuen Shoin” is a survey and research on Hakuen Private Academy, the largest and best academy in Osaka from the end of the Edo period to the beginning of the Meiji period.

Over the course of the four-year period, focusing on Hakuen Shoin, we have conducted an interdisciplinary survey of the history, development and significance of Chinese studies in Japan in the early modern and modern periods, and provided many images and textual data. We also found a number of previously unknown students and revealed that their influence was spreading throughout Japan. In addition to actively publishing papers and presenting at conferences, two comprehensive symposia were held and two collections of papers and one academic book were published. In addition, a wealth of digital information was made available to the public through the WEB Hakuen and the Hakuen collection digital archive.

研究分野：中国思想史

キーワード：泊園文庫 藤澤東ガイ〔田+亥〕 藤澤南岳 石濱純太郎 漢学 私塾 儒教 徂徠学

## 1. 研究開始当初の背景

泊園書院は文政8年（1825）、四国高松藩の藤澤東ガイ〔田+亥〕によって大阪市中に開かれた徂徠学系の漢学塾であり、その後、関西を代表する学問所として栄えた。東ガイ〔田+亥〕の後、子の南岳、南岳の子の黄鵠、黄鵠という「三世四代」の塾主によって継承され、さらに黄鵠義弟の石濱純太郎が伝統的漢学に加えて内藤湖南ら京都学派の近代アジア学を導入し新局面を開いた。

この間、近畿や四国・中国など関西地区を中心に全国各地から五千人を超える門人が学び、外務大臣陸奥宗光、ジャーナリストの草分け岸田吟香、ユニチカ創業者の福本元之助、武田薬品株式会社創業者の武田長兵衛、台北帝国大学初代学長の幣原坦、日本女子大（現在の日本女子大学）初の女性校長井上秀ら多彩な人材を生んだ。

このように、泊園書院は日本教育史上重要な存在であり、同書院に焦点を当てることで、近世・近代における大阪の漢学はいかなるものだったのか、また、そこで培われた漢学的教養は日本近代にいかなる役割を果たしたのかなどの考察も期待された。

## 2. 研究の目的

泊園書院は懐徳堂や適塾と比べて知名度が低く、研究も十分進んでいなかった。しかし適塾が明治元年（1868）に、懐徳堂が明治2年（1869）にそれぞれ閉校となったあと近代的学制が整う明治中期まで、大阪の学術と教育を維持、振興したのが泊園書院であり、経学や諸子学の教養、漢詩文・書画等の文芸によって関西における知的拠点の様相を呈していた。本研究はまず、そのような関西を代表する私塾・泊園書院の歴史と意義を解明するという目的をもつ。

このことは関西文化の考察はもちろん、漢学・漢詩文は日本近世・近代の教育や教養・文化の形成にどのような役割を果たしたのかの検証にもつながるものであり、個々の学者を中心に進められてきたこれまでの個別研究とは違う幅広さを有する。さらに、WEB泊園は泊園書院の蔵書「泊園文庫」（関西大学総合図書館）の書籍・手稿本等の画像・文字データ、門人データをコンテンツとして含むもので、その公開と充実は内外の関心を喚起し、日本漢学史はもちろん、日本教育史・文化史の研究に刺激をもたらすという目的を有する。

## 3. 研究の方法

研究代表者の吾妻と研究分担者はこれまで泊園書院研究に精力的に取り組んできた。本研究ではその成果を基礎として、(1)泊園書院における儒学・思想と文芸の実証的研究、(2)懐徳堂や四国高松藩など関西の他の漢学塾や漢詩グループとの比較研究、(3)近代アジア学と泊園書院の研究を展開するとともに、(4)碑文の訳注作成、(5)泊園文庫書籍の画像撮影、(6)塾主らの著作のテキスト入力、(7)門人調査とそのデータベース作成を進め、(8)アーカイブズをWEB上で一般公開するという方法をとった。

研究体制は次のとおりである。

○研究代表者 吾妻 重二（研究統括，泊園書院の学術・思想研究）

○研究分担者

有馬 卓也（四国・中国地方における漢学の研究）

太田 剛（藤澤東岐ら四国における漢詩文・書蹟の研究）

陶 徳民（懐徳堂など大阪漢学との比較研究）

橋本 昭典（泊園書院の経学・漢学の研究）

長谷部 剛（幕末・明治の漢詩、混沌社・梅花社などの詩社研究）

山寺美紀子（泊園書院における琴学・音楽の研究）

松井真希子（泊園書院の先秦諸子学および関連碑文の研究）

矢羽野隆男（近世大阪における漢学者の研究）\*2019年度まで

中谷 伸生（藤澤南岳を中心とする書画・印章の研究）\*2020年度まで

藤田 高夫（泊園書院における近代アジア学，アーカイブ構築）\*2020年度まで

横山俊一郎（泊園書院の門人の調査、研究）\*2021年度のみ

#### 4. 研究成果

研究成果は各年度の「様式 C-7-1」および「5. 主な発表論文等」に列挙してあるが説明は加えていない。そこで特に重要な成果を紹介し、その内容と意義につき具体的に説明する。

##### シンポジウムの開催

平成 30 年（2018）10 月 26 日・27 日の二日にわたって「東西学術研究と文化交渉 石濱純太郎没後五十年記念国際シンポジウム」を関西大学東西学術研究所と泊園記念会の支援により開催した。

令和 2 年（2020）10 月 23 日・24 日の二日にわたり、藤澤南岳没後百年を記念する「南岳百年祭」を開催した。

##### 展示会の開催と展示目録の刊行

上記「東西学術研究と文化交渉 石濱純太郎没後五十年記念国際シンポジウム」開催に合わせて企画展「石濱純太郎とその学問・人脈」を行い、展覧図録（全 50 ページ、2018 年）を刊行した。

上記「南岳百年祭」開催に合わせて企画展「藤澤南岳の書と芸術」を開催し、その展覧目録（全 20 ページ、2020 年）をカラーで刊行した。

令和 3 年（2021）12 月 12 日、研究分担者の太田剛を中心に「花街草舎収集 第一回 藤澤南岳先生作品展」を開催し、展覧図録（全 76 ページ、2021 年）をカラーで刊行した。

##### 論文集の刊行

『東西学術研究と文化交渉 石濱純太郎没後 50 年記念国際シンポジウム論文集』を本科研メンバーを含む 18 名の執筆により刊行した（吾妻編著、全 495 ページ、関西大学出版部、2019 年）。

『「南岳百年祭」記念論文集』を本科研メンバーを含む9名の執筆により刊行した（吾妻編著、全269ページ、関西大学東西学術研究所、2021年）。

#### 学術図書の刊行

横山俊一郎著・吾妻監修『泊園書院の人びと その702人』を刊行した（全390ページ、清文堂出版、2022年）。一万人を超えたとされる多数の泊園書院門人のうち、朝野に名を成した人物702名の略伝を載せる。肖像も可能な限り調査して掲載し、泊園書院研究のうえで画期的な成果となった。

#### デジタルアーカイブ作成と公開

関西大学アジア・オープン・リサーチセンター（KU-ORCAS）の協力を得て、関西大学デジタルアーカイブ（<https://www.iiif.ku-orcas.kansai-u.ac.jp/>）の「泊園文庫デジタルアーカイブ」および「泊園印章デジタルアーカイブ」においてIIIF画像を公開した。またWEB泊園（<https://www.kansai-u.ac.jp/hakuen/>）を改修し、本科研の成果をコンテンツとして盛り込んだ。

これらのデジタルアーカイブおよび画像・テキストデータの蓄積については吾妻論文「泊園書院デジタルデータベースとその応用」（[https://kansai-u.repo.nii.ac.jp/?action=repository\\_opensearch&index\\_id=3037](https://kansai-u.repo.nii.ac.jp/?action=repository_opensearch&index_id=3037)）に詳しく紹介した。

これらの主な成果が示すように、本科研において大阪の漢学塾である泊園書院の学問や教育、蔵書、書画芸術等が日本の近世・近代をリードする高度かつ広範な内容をもっていたことが明らかとなった。大正・昭和に同書院の講学を担った石濱純太郎が西夏語や蒙古語等東洋言語学研究のパイオニアとして活躍したことに光があてられた。これについては中国、ロシアの研究者からも論考が寄せられ高く評価された。

泊園書院から多くの門人が輩出し、さまざまな分野で活躍して日本の近代化を支えていたことが初めて解明されたことも重要である。近畿地方を中心として全国にまたがるその人脈は予想をはるかに超える広がりを持っており、同書院再評価の大きな要素となっている。このことは漢学と近代化が矛盾するものではなく、むしろ漢学が近代化を推進する重要な基因となっていたことを示唆するものであって、そのインパクトはきわめて大きいといわなければならない。

本科研の重要テーマの一つであるデジタルアーカイブ作成に関しても、泊園文庫を中心に諸データを蓄積するとともに、関連ホームページで多くを公開した。これらはすでに内外の研究者によって活用されているが、今後いっそうの整備により、関連研究者によって利用され成果が生み出されるものと期待される。

今後の展望としては、近世・近代における日本漢学の研究を促進しうること、日本の私塾や藩校等日本の教育文化の解明に繋がること、大阪文化の研究をより豊かなものにしうること、さらに「漢学」という学問を通して中国や朝鮮・韓国、ベトナム等東アジア地域との比較研究に道筋をつけられたこと等が挙げられる。本科研4年間の成果はそのような展望

を拓く豊かな内容をもっている。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計47件（うち査読付論文 22件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 13件）

1. 著者名 吾妻重二	4. 巻 53
2. 論文標題 日本における『家礼』式儒墓について 東アジア文化交渉の視点から（一）	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 『関西大学東西学術研究所紀要』	6. 最初と最後の頁 3～39
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -
1. 著者名 有馬卓也	4. 巻 49
2. 論文標題 岡本章庵『小学新編』敬和第三・訳注	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 『東洋古典学研究』（広島大学）	6. 最初と最後の頁 171～186
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 有馬卓也	4. 巻 50
2. 論文標題 岡本章庵関連文書（5）	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 『東洋古典学研究』（広島大学）	6. 最初と最後の頁 157～170
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 橋本昭典（井澤耕一と共著）	4. 巻 26
2. 論文標題 從《經學歷史》的創作過程看皮錫瑞的經學史觀 手稿本和通行本的比較（中国語，広西師範大学出版社）	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 『中国経学』	6. 最初と最後の頁 153～168
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 太田 剛	4. 巻 46
2. 論文標題 松村茂樹著 研文選書『書と画を論じる』（書評）	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 『書論』（書論研究会）	6. 最初と最後の頁 300～301
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 長谷部剛	4. 巻 36
2. 論文標題 日本的漢詩寫作	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 『文學論衡』（香港中國語文學會）	6. 最初と最後の頁 92～100
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 長谷部剛	4. 巻 29
2. 論文標題 從《費諾洛薩筆記》來看森槐南的李白詩解釋	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 『人文中國學報』（香港浸会大学人文中国学報編委会）	6. 最初と最後の頁 40～60
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 松井真希子	4. 巻 59
2. 論文標題 泊園書院関係碑文 訳注稿（二）	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 『泊園』（関西大学泊園記念会）	6. 最初と最後の頁 139～183
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山寺美紀子	4. 巻 2020
2. 論文標題 琴(きん)(古琴・七弦琴)(解説)	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 『浜松市楽器博物館総合案内図録』(浜松市楽器博物館)	6. 最初と最後の頁 79~81
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 吾妻重二	4. 巻 42
2. 論文標題 藤澤南岳と宮武正策 高松の文人たち	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 『関西大学中国文学会紀要』	6. 最初と最後の頁 1~17
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 吾妻重二	4. 巻 14
2. 論文標題 山崎闇斎・浅見綱斎と『家礼』 『文会筆録』 『家礼師説』 『喪祭小記』 など	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 『東アジア文化交渉研究』(関西大学大学院東アジア文化研究科)	6. 最初と最後の頁 1~18
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 太田 剛	4. 巻 17
2. 論文標題 本家松浦酒造場所蔵の書画作品調査報告(1)	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 『書道文化』(四国大学書道文化学会研究紀要)	6. 最初と最後の頁 15~48
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 太田 剛	4. 巻 1
2. 論文標題 『神内喬木文集』に見る幕末讃岐の医学	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 『四国大学学際融合研究所紀要』（電子版）	6. 最初と最後の頁 145～162
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 陶 徳民	4. 巻 41
2. 論文標題 湖南研究の新機軸を打ち出すための模索 内藤文庫をめぐる共同研究プロジェクトについて	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 『湖南』（内藤湖南先生顕彰会）	6. 最初と最後の頁 24～27
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中谷伸生	4. 巻 通巻772
2. 論文標題 耳鳥齋は《鳥獣人物戯画》を継承したのか	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 『ユリイカ』（青土社）	6. 最初と最後の頁 142～150
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中谷伸生	4. 巻 14
2. 論文標題 深田直城の大阪写生派絵画と日本画の近代	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 『東アジア文化交渉研究』（関西大学大学院東アジア文化研究科）	6. 最初と最後の頁 27～44
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 山寺美紀子	4. 巻 38
2. 論文標題 荻生徂徠著『琴学大意抄』（荻生家所蔵 徂徠自筆稿本）注釈稿（二）	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 國學院大學北海道短期大学部紀要	6. 最初と最後の頁 59～74
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 吾妻重二	4. 巻 52
2. 論文標題 内藤文庫所蔵の文淵閣四庫全書について 附：長澤文庫所蔵の文淵閣四庫全書	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 『関西大学東西学術研究所紀要』	6. 最初と最後の頁 15～40
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 中谷伸生	4. 巻 52
2. 論文標題 長澤蘆雪 - 流派を越えて -	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 『関西大学東西学術研究所紀要』	6. 最初と最後の頁 3～14
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 有馬卓也	4. 巻 47
2. 論文標題 岡本章庵『女訓新書』翻刻・訳注	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 『東洋古典学研究』	6. 最初と最後の頁 163～175
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 吾妻重二	4. 巻 31 (2019年第1輯)
2. 論文標題 日本近世的儒教喪祭礼儀 《家礼》与日本 (中国語, 古宏毅訳)	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 『人文論叢』 (武漢大学)	6. 最初と最後の頁 3~17
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山寺美紀子 (山寺三知と共訳)	4. 巻 16
2. 論文標題 鄭珉中著, 正倉院の「金銀平文琴」について 中国の宝琴・素琴の問題を兼ねて (その二) (翻訳)	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 『日本伝統音楽研究』 (京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター)	6. 最初と最後の頁 87~98
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中谷伸生	4. 巻 39
2. 論文標題 坂本泰漣 - 透過する素材の向かうところ	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 『美術フォーラム21』 (美術フォーラム21刊行会)	6. 最初と最後の頁 12~19
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 松井真希子	4. 巻 58
2. 論文標題 泊園書院関係碑文 訳注稿 (一)	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 『泊園』	6. 最初と最後の頁 127~172
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 吾妻重二	4. 巻 2019年第4期
2. 論文標題 朱熹《家礼》的和刻本（中国語，彭衛民訳）	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 『済南大学学报（社会科学版）』	6. 最初と最後の頁 54～66
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 太田 剛	4. 巻 20
2. 論文標題 新発見資料の報告『菊池家文書』紹介 - 菊池黄山に関わる資料を中心に -	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 『文藝もず』（菊池寛記念館）	6. 最初と最後の頁 32～41
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 矢羽野隆男	4. 巻 68
2. 論文標題 『東雲新聞』にみる在野儒学者の活動 山本梅崖・藤沢南岳の講演・漢詩文について	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 『四天王寺大学紀要』	6. 最初と最後の頁 1～18
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 橋本昭典	4. 巻 68
2. 論文標題 播磨の漢学	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 『新しい漢字漢文教育』（全国漢文教育学会）	6. 最初と最後の頁 51～60
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 吾妻重二	4. 巻 45
2. 論文標題 長尾雨山と儒葬 朱熹『家礼』の実践	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 『書論』（書論研究会）	6. 最初と最後の頁 62～74
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 太田 剛	4. 巻 45
2. 論文標題 讃岐における長尾雨山の交友と書碑	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 『書論』（書論研究会）	6. 最初と最後の頁 81～97
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山寺美紀子	4. 巻 37
2. 論文標題 荻生徂徠著『楽律考』訳注稿（五）	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 『國學院大學北海道短期大学部紀要』	6. 最初と最後の頁 61～88
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 吾妻重二	4. 巻 245
2. 論文標題 佐藤一斎『哀敬編』について 日本陽明学者の新たな儒教葬祭書	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 『アジア遊学』（原田正俊編，アジアの死と鎮魂・追善）	6. 最初と最後の頁 65～82
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 吾妻重二	4. 巻 13
2. 論文標題 朱子学再考 「三綱五常」をめぐって	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 『東アジア文化交渉研究』	6. 最初と最後の頁 307～324
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 中谷伸生	4. 巻 13
2. 論文標題 木村兼葭堂はなぜ笑っているのか - 研究をめぐる疑問と課題と仮設 -	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 『東アジア文化交渉研究』	6. 最初と最後の頁 31～57
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 中谷伸生	4. 巻 26
2. 論文標題 深田直城《寒山拾得図 (下絵)》及び『人物・花鳥・海魚』素描	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 『関西大学博物館紀要』	6. 最初と最後の頁 25～35
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 吾妻重二	4. 巻 51
2. 論文標題 植野武雄とその東洋学 附・著述目録	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 『関西大学東西学術研究所紀要』	6. 最初と最後の頁 15-51
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 山寺美紀子	4. 巻 51
2. 論文標題 狄生徂徠の音楽に関する新出資料五点とその意義について	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 『関西大学東西学術研究所紀要』	6. 最初と最後の頁 111～143
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 長谷部剛	4. 巻 17
2. 論文標題 古代日本樂府詩管窺	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 『楽府学』	6. 最初と最後の頁 81～93
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 橋本昭典	4. 巻 67
2. 論文標題 但馬・丹波の漢学	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 『新しい漢字漢文教育』	6. 最初と最後の頁 49～57
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 長谷部剛	4. 巻 6月2日
2. 論文標題 二十世紀日本大阪舊體文學的繼承與終結 以泊園書院為主	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 『華人文化研究』	6. 最初と最後の頁 33～42
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 陶徳民	4. 巻 40
2. 論文標題 姚名達の内藤湖南宛て第一書簡について 内藤所蔵の『章学誠遺書』に関する最初の借用請求	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 『関西大学中国文学会紀要』	6. 最初と最後の頁 1～10
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 陶徳民	4. 巻 12
2. 論文標題 明治末年に現れた伸仏耶三教会同と帰一協会の意義 「第二の維新を目指す有識者たちの努力とその限界	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 『東アジア文化交渉研究』	6. 最初と最後の頁 201～214
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 太田剛	4. 巻 15
2. 論文標題 井上春洋の生涯と書	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 『書道文化』	6. 最初と最後の頁 1～32
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中谷伸生	4. 巻 25
2. 論文標題 大坂の四条派画家たちの特質	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 『関西大学博物館紀要』	6. 最初と最後の頁 100～124
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 中谷伸生	4. 巻 12
2. 論文標題 長澤蘆雪と大坂画壇	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 『東アジア文化交渉研究』	6. 最初と最後の頁 3～21
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 山寺美紀子	4. 巻 12
2. 論文標題 荻生徂徠の『楽律考』『楽制篇』並びにその楽律論の継承と影響 (その一、荻生北溪)	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 『日本伝統音楽研究センター研究報告』	6. 最初と最後の頁 123～142
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 矢羽野隆男	4. 巻 68
2. 論文標題 『東雲新聞』にみる在野儒学者の活動 山本梅崖・藤沢南岳の講演・漢詩文について	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 『四天王寺大学紀要』	6. 最初と最後の頁 1～18
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計56件 (うち招待講演 21件 / うち国際学会 22件)

1. 発表者名 吾妻重二
2. 発表標題 《朱子家礼》在日本 (中国語)
3. 学会等名 心追往聖，雲上同行 第十三届朱子之路研習營 中国福建省廈門市同安朱子書院，オンラインによる基調講演，2020.7.11 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 吾妻重二
2. 発表標題 泊園書院と藤澤南岳
3. 学会等名 第60回泊園記念講座 藤澤南岳没後百年記念「南岳百年祭」シンポジウム，関西大学梅田キャンパス8階・KANDAI Me RISEホール，2020.10.23（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 吾妻重二
2. 発表標題 藤澤南岳と宮武正策 高松の文人たち
3. 学会等名 第60回泊園記念講座・藤澤南岳没後百年記念「南岳百年祭」シンポジウム，関西大学以文館4階セミナースペース，2020.10.24
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 吾妻重二
2. 発表標題 日本の漢学塾“泊園書院” また漢学と日本近代
3. 学会等名 2020年中國文化大學東亞學會議「富裕東亞、躍動東亞 東亞人文・經貿・科技的交流」，オンラインによる基調講演，2020.11.9（招待講演）（國際学会）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 吾妻重二
2. 発表標題 再論“三綱五常”（中国語）
3. 学会等名 儒学对近代漢字文化圈的学术述語与思想作用的研究，上海・東華大学，オンラインによる基調講演，2020.12.8（招待講演）（國際学会）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 太田 剛
2. 発表標題 幕末讃岐の種痘医の遺稿 『神内喬木文集』を読む
3. 学会等名 四国大学学際融合研究所言語文化研究部門研究例会，四国大学F101教室，2020.10.15
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 太田 剛
2. 発表標題 阿波・淡路における藤澤南岳と泊園関係者との交友
3. 学会等名 第60回泊園記念講座・藤澤南岳没後百年記念「南岳百年祭」シンポジウム，関西大学以文館4階セミナースペース，2020.10.24
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 陶 徳民
2. 発表標題 Uchigasaki Sakusaburo (1877-1947) as a Biographer of Abraham Lincoln
3. 学会等名 第12回東アジア文化交渉学会年次大会，中国・鄭州大学，オンラインによる開催，2020.5.9（国際学会）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 長谷部剛
2. 発表標題 藤澤南岳『和陶飲酒詩』を読む
3. 学会等名 第60回泊園記念講座・藤澤南岳没後百年記念「南岳百年祭」シンポジウム，関西大学以文館4階セミナースペース，2020.10.24
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 中谷伸生（橋爪節也・松浦清・明尾圭造と共演）
2. 発表標題 『蘭』を見る・鄭板橋と木村蒹葭堂
3. 学会等名 一茶庵宗家主催，大阪・一茶庵，2020.5.2
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 中谷伸生（橋爪節也・松浦清・明尾圭造と共演）
2. 発表標題 放蕩無頼の文人・十時梅屋
3. 学会等名 一茶庵宗家主催，大阪・一茶庵，2020.9.27
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 山寺美紀子
2. 発表標題 古琴演奏
3. 学会等名 第60回泊園記念講座 藤澤南岳没後百年記念「南岳百年祭」シンポジウム，関西大学梅田キャンパス8階・KANDAI Me RISEホール（オンラインによる演奏），2020.10.23（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 中谷伸生
2. 発表標題 大坂画壇の今日の状況
3. 学会等名 大阪近代美術研究会，関西大学博物館，2021.1.23
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 中谷伸生
2. 発表標題 岡田半江と大坂の文人画
3. 学会等名 共作による創造：京 - 大坂の美術とサロン文化 1750 - 1900, ロンドン大学, 2019.4.10 (講演) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 藤田高夫
2. 発表標題 An Attempt to Analyze Writing Forms in Administrative Documents and Records in the Han Period
3. 学会等名 東アジア文化交渉学会第11回年次大会, ドイツ・エアランゲン大学, 2019.5.11 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 中谷伸生
2. 発表標題 フェノロサ・岡倉天心と日本文人画の評価 - 西洋的価値観との対立をめぐって -
3. 学会等名 東アジア文化交渉学会第11回年次大会, ドイツ・エアランゲン大学, 2019.5.11 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 吾妻重二
2. 発表標題 泊園書院について
3. 学会等名 「ボアソナードとその教え子たち」シンポジウム, 関西大学尚文館マルチメディアA V大ホール, 2019.6.15 (講演) (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 吾妻重二
2. 発表標題 佐藤一斎《哀敬編》初探 日本陽明学者的儒教喪祭書（中国語）
3. 学会等名 東亜礼学与經学国際シンポジウム 上海儒学院第三回年会，復旦大学哲学学院・復旦大学上海儒学院・上海市儒学研究会主催，復旦大学，2019.6.29（基調講演）（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 陶 徳民
2. 発表標題 重野安緯と初期の静嘉堂 岩崎弥之助の見識に触れて
3. 学会等名 東洋文庫特別講演会，2019.6.30（講演）（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 長谷部剛
2. 発表標題 日本的漢詩寫作
3. 学会等名 古典體詩教學，創作與研究國際學術研討會，香港珠海學院，2019.7.10（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 陶 徳民
2. 発表標題 近世近代儒教和基督教交渉の歴史經驗的反思 陶著『西教東漸と中日事情』の成書背景之介紹
3. 学会等名 中央研究院文哲研究所，2019.7.19（講演）（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 陶 徳民
2. 発表標題 近代史上的大阪儒學 以懷德堂朱子学与泊園徂徠学為例
3. 学会等名 兩岸四地朱子学研究シンポジウム, 台湾大学, 2019.7.23 (基調講演) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 陶 徳民
2. 発表標題 湖南晩年の比較文明論と K・ラムプレヒト『近代歴史学』
3. 学会等名 東西学術研究所第 5 回研究例会「近代日中の学術と藝術への新しいアプローチ 古今・東西の文化交渉と融合の視点から」, 2019.7.29
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 藤田高夫
2. 発表標題 Analysis of Writing Styles on wood slips of the Han period
3. 学会等名 関西大学オープン・リサーチ・センター国際シンポジウム「East Asian Studies and DH」, 関西大学, 2019.8.30 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 中谷伸生
2. 発表標題 江戸時代に描かれた淀川とその文化力 (おおさか探究)
3. 学会等名 関西大学おおさか文化セミナー, 関西大学梅田キャンパス, 2019.10.23 (講演) (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 長谷部剛
2. 発表標題 東亞文學視野下的樂府文學研究
3. 学会等名 樂府學會第四屆年會・第七屆樂府歌詩國際學術研討會，広州大学人文学院，2019.11.9日（招待講演）（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 吾妻重二
2. 発表標題 藤澤東カイ〔田+亥〕・南岳と泊園書院
3. 学会等名 咸宜園教育研究センター公開講座「江戸時代の私塾と教育者」，大分県日田市アオーゼ，2019.12.6（講演）（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 吾妻重二
2. 発表標題 日本における『家礼』式儒墓について
3. 学会等名 東西学術研究所第12回研究例会「中国・日本の宗教と儀礼をめぐって」，関西大学東西学術研究所，2019.12.20
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 陶 徳民
2. 発表標題 讃岐の雨山とその尊王論及び書学 2105 年年頭狩野先生ご自宅への訪問にも触れて
3. 学会等名 『書論』第 45 号「特集・長尾雨山」合評会並びに二王学構築研究会，大阪市難波市民学習センター講堂，2019.12.21
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 陶 徳民
2. 発表標題 内藤湖南と羅振玉・鄭孝胥との微妙な関係 1917年と1933年の中国訪問をめぐって
3. 学会等名 東西学術研究所第13回研究例会「近現代中国・日本・西洋の相互理解と文化交渉」, 関西大学東西学術研究所, 2020.1.21
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 吾妻重二
2. 発表標題 朱子の学問所 白鹿洞書院
3. 学会等名 懐徳忌講演, 大阪中央区・誓願寺, 2018.4.7 (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 陶徳民
2. 発表標題 「外」から見た激動の幕末明治時代 史海拾貝の経験と教訓
3. 学会等名 第 33 回 大阪大学待兼山史友会総会記念講演, 2018.4.14 (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 吾妻重二
2. 発表標題 幕末維新における大阪最大・最高の学問所「泊園書院」とは
3. 学会等名 うめだカレッジ2018年度前期第1回, 2018.4.14 (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 陶徳民
2. 発表標題 近代東西和 中日文化交流中の三種珍籍及其影響: 《地理全志》, 《明清八家文》和《鈔本章 學誠遺書》
3. 学会等名 HKUST Library Book Talk, 香港科技大学図書館, 2018.5.8
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 陶徳民
2. 発表標題 關於内藤文庫所蔵鈔本《章氏遺書》來歴之考証
3. 学会等名 香港大学饒宗頤學術館, 2018.5.10 (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 中谷伸生
2. 発表標題 絵画のデジタル化とその可能性
3. 学会等名 第47回生涯学習吹田市民大学, 関西大学千里ホール, 2018.6.27 (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 陶徳民
2. 発表標題 『苦肉の策』としての『教育勅語』 明治国家成立期のイデオロギー構築にかかわった人々の思想と行動
3. 学会等名 東西学術研究所第3回研究例会, 2018.7.4
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 吾妻重二
2. 発表標題 関西大学における中国思想研究
3. 学会等名 東西学術研究所第4回研究例会「日中における中国思想・儒教研究の現状と展望」, 2018.7.14
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 矢羽野隆男
2. 発表標題 大阪大学の中国学
3. 学会等名 東西学術研究所第4回研究例会「日中における中国思想・儒教研究の現状と展望」, 2018.7.14
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 中谷伸生
2. 発表標題 大坂画壇と京・大坂の文化ネットワーク
3. 学会等名 KU - ORCAS国際シンポジウム, 関西大学マルチメディア教室, 2018.7.28 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 吾妻重二
2. 発表標題 長尾雨山と高松の文人・泊園書院
3. 学会等名 第40回書論研究会大会「長尾雨山とその交友」, 高松市歴史資料館, 2018.8.25
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 太田剛
2. 発表標題 讃岐長尾家の由緒と長尾雨山の書
3. 学会等名 第40回書論研究会大会「長尾雨山とその交友」, 高松市歴史資料館, 2018.8.25
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 長谷部剛
2. 発表標題 二十世紀日本大阪舊體文學的繼承與終結 以泊園書院為主
3. 学会等名 香港中文大學中國語言及文學系「風雅傳承:第二屆民初以來舊體文學國際學術研討會」, 2018.9.6(國際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 中谷伸生
2. 発表標題 芦雪と大坂画壇
3. 学会等名 芦雪國際シンポジウム, チューリッヒ大学(スイス), 2018.10.20(國際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 中谷伸生
2. 発表標題 大坂画壇と2021年展覧会企画をめぐって
3. 学会等名 The joint research project, "Osaka Painting and Kyoto-Osaka Salon Culture", ロンドン大学SOAS(イギリス), 2018.10.24(國際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 吾妻重二
2. 発表標題 シンポジウム開催にあたって 石濱純太郎と泊園書院・関西大学
3. 学会等名 第58回泊園記念講座「東西学術研究と文化交渉 石濱純太郎没後50年記念国際シンポジウム」, 関西大学, 2018.10.26 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 中谷伸生
2. 発表標題 パリ・ソナムルールからの葉書 - 石濱純太郎宛の小出梢重による便り -
3. 学会等名 第58回泊園記念講座「東西学術研究と文化交渉 石濱純太郎没後50年記念国際シンポジウム」, 関西大学, 2018.10.26 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 太田剛
2. 発表標題 近世末期の淡路における儒学者の系譜 石濱家の学問的環境を探る
3. 学会等名 第58回泊園記念講座「東西学術研究と文化交渉 石濱純太郎没後50年記念国際シンポジウム」, 関西大学, 2018.10.26 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 吾妻重二
2. 発表標題 朱熹与“三綱五常” 再論伝統儒教的価値(1)
3. 学会等名 東華大学 関西大学学術研討会“從儒学到科学”, 東華大学(上海), 2018.11.2 (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 吾妻重二
2. 発表標題 日本近世的儒教喪祭礼儀 《家礼》与日本（中国語）
3. 学会等名 「礼学与中国传统文化国際学術シンポジウム」, 武汉大学珞珈山莊, 2018.11.10（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 太田剛
2. 発表標題 新出の菊池家文書から見る高松藩の学問と文人交流 菊池黄山を中心に
3. 学会等名 菊池寛記念館第27回文学展 菊池寛生誕130年・没後70年, 2018.11.24（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 長谷部剛
2. 発表標題 日本古文辭派明詩選《唐後詩》的初步探索
3. 学会等名 中華詩詞研究院「第三屆中華詩詞古今演變研討會」（上海）, 2018.11.28（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 橋本昭典
2. 発表標題 諸子百家を哲学する
3. 学会等名 愛知教育大学国語専攻2018年度学術講演会, 愛知教育大学, 2018.12.7（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 長谷部剛
2. 発表標題 從《費諾洛薩筆記》來看森槐南的李白詩解釋
3. 学会等名 香港浸會大學中國語言文學系「中國詩學研究新視野國際學術研討會」, 2018.12.8 (國際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 藤田高夫
2. 発表標題 デジタルアーカイブと東アジア研究
3. 学会等名 デジタルアーカイブ学会, 京都大学, 2019.3.15
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 山寺美紀子
2. 発表標題 中国伝来の現存最古の七絃琴譜、国宝『碣石調幽蘭第五』(唐代写本)について 資料紹介から復元演奏まで
3. 学会等名 日本伝統音楽研究センター(プレ公開講座)公開プロジェクト研究会, 京都市立芸術大学, 2019.3.22
4. 発表年 2019年

〔図書〕 計39件

1. 著者名 吾妻重二	4. 発行年 2020年
2. 出版社 上海古籍出版社	5. 総ページ数 総241
3. 書名 『《朱子家禮》宋本彙校』	

1. 著者名 吾妻重二	4. 発行年 2020年
2. 出版社 関西大学東西学術研究所・泊園記念会	5. 総ページ数 総20
3. 書名 『藤澤南岳没後百年記念「南岳百年祭」 「藤澤南岳の書と芸術」展観目録』	

1. 著者名 橋本昭典	4. 発行年 2020年
2. 出版社 東方書店	5. 総ページ数 総366
3. 書名 葛兆光『中国は“中国”なのか 「宅茲中国」のイメージと現実』（翻訳）	

1. 著者名 吾妻重二	4. 発行年 2020年
2. 出版社 上海・商務印書館	5. 総ページ数 497～511
3. 書名 『東亜朱子学新探 中日韓朱子学的伝承与创新』上冊（呉震編，共著13人，総ページ数541頁），分担執筆：「江戸日本礼学思想与实践 以藤井懶斎《二礼童覽》為例」（中国語，陳曉傑訳）	

1. 著者名 太田 剛	4. 発行年 2020年
2. 出版社 「谷内清巖大和尚」顕彰会	5. 総ページ数 総39
3. 書名 『淡路島が生んだ真言宗の名僧・華道家・書家 谷内清巖の書』（三原明美と共著）	

1. 著者名 吾妻重二	4. 発行年 2021年
2. 出版社 V&R unipress ,Germany	5. 総ページ数 99-119
3. 書名 Cultural Interaction Studies in East Asia : New Methods and Perspective ( edited by TAO Demin & FUJITA Takao, V&R unipress ,Germany, March8 , 2021 ), AZUMA Juji: "The Private Academies of East Asia: Research Perspectives and Overview" ( 共著19人, 総ページ数323頁 )	

1. 著者名 吾妻重二	4. 発行年 2021年
2. 出版社 関西大学出版部	5. 総ページ数 総309
3. 書名 『家礼文献集成 日本篇9』( 編著 ), 関西大学東西学術研究所資料集刊27-9	

1. 著者名 吾妻重二	4. 発行年 2021年
2. 出版社 吉川弘文館	5. 総ページ数 256 ~ 291
3. 書名 『日本宗教史2 世界のなかの日本宗教』( 上島享・吉田一彦編, 共著10人, 総ページ数343頁 ), 分担執筆: 「 儒教と日本の葬祭儀礼 近世を中心に 」	

1. 著者名 陶 徳民・藤田高夫 ( 共編 )	4. 発行年 2021年
2. 出版社 V&R unipress ,Germany	5. 総ページ数 総323
3. 書名 Cultural Interaction Studies in East Asia : New Methods and Perspectives	

1. 著者名 陶 徳民	4. 発行年 2021年
2. 出版社 関西大学出版部	5. 総ページ数 総412
3. 書名 『もう一つの内藤湖南像 関西大学内藤文庫探索二十年』	

1. 著者名 陶 徳民	4. 発行年 2021年
2. 出版社 関西大学出版部	5. 総ページ数 総214
3. 書名 Abraham Lincoln, Samuel Williams and East Asia: A Multilingual Approach, 関西大学東西学術研究所 研究叢刊64	

1. 著者名 中谷伸生	4. 発行年 2021年
2. 出版社 春風社	5. 総ページ数 35 ~ 54
3. 書名 『東アジアにおける南島研究』（南島史学会編著，共著11人，総ページ数304頁），分担執筆：台湾の画家 陳進と日本画（膠彩画）の文化交渉	

1. 著者名 陶 徳民・中谷伸生ら	4. 発行年 2019年
2. 出版社 関西大学東西学術研究所	5. 総ページ数 総76
3. 書名 『山本竟山の書と学問 湖南・雨山・鉄斎・南岳との文人交流ネットワーク』（共編著）	

1. 著者名 吾妻重二	4. 発行年 2019年
2. 出版社 関西大学出版部	5. 総ページ数 総495
3. 書名 『東西学術研究と文化交渉 石濱純太郎没後50年記念国際シンポジウム論文集』（編著），関西大学東西学術研究所研究叢刊59	

1. 著者名 吾妻重二	4. 発行年 2019年
2. 出版社 関西大学出版部	5. 総ページ数 9～23, 27～76
3. 書名 『東西学術研究と文化交渉 石濱純太郎没後50年記念国際シンポジウム論文集』（関西大学東西学術研究所研究叢刊59，関西大学出版部，吾妻重二編著），分担執筆：石濱純太郎先生年譜略 補訂版，石濱純太郎の修業時代 新資料を中心に	

1. 著者名 陶 徳民	4. 発行年 2019年
2. 出版社 関西大学出版部	5. 総ページ数 317～332
3. 書名 『東西学術研究と文化交渉 石濱純太郎没後50年記念国際シンポジウム論文集』（関西大学東西学術研究所研究叢刊59，関西大学出版部，吾妻重二編著），分担執筆：富永仲基顕彰に関する石濱純太郎の功績『楽律考』発見の意義に触れて	

1. 著者名 中谷伸生	4. 発行年 2019年
2. 出版社 関西大学出版部	5. 総ページ数 333～356
3. 書名 『東西学術研究と文化交渉 石濱純太郎没後50年記念国際シンポジウム論文集』（関西大学東西学術研究所研究叢刊59，関西大学出版部，吾妻重二編著），分担執筆：小出楯重《パリ・ソムムラールの宿にて》と石濱純太郎	

1. 著者名 太田 剛	4. 発行年 2019年
2. 出版社 関西大学出版部	5. 総ページ数 423～457
3. 書名 『東西学術研究と文化交渉 石濱純太郎没後50年記念国際シンポジウム論文集』（関西大学東西学術研究所研究叢刊59, 関西大学出版部, 吾妻重二編著）, 分担執筆：近世末期の淡路における儒学者の系譜 - 石濱家の学問的環境を探る -	

1. 著者名 太田 剛	4. 発行年 2019年
2. 出版社 四国大学発行（簡易版）	5. 総ページ数 総22
3. 書名 『淡路島が生んだ真言宗の名僧・華道家・書家 谷内清巖書作展』図録（共著）	

1. 著者名 太田 剛	4. 発行年 2020年
2. 出版社 神内國榮氏発行	5. 総ページ数 総362
3. 書名 『神内喬木文集 - 幕末讃岐三木の種痘医の遺稿 - 』	

1. 著者名 藤田高夫	4. 発行年 2020年
2. 出版社 関西大学東西学術研究所	5. 総ページ数 3～19
3. 書名 『東アジア圏における文化交流の軌跡と展望』（関西大学東西学術研究所叢書第7号, 井上克人編著）, 分担執筆：ナショナルヒストリーとグローバルヒストリーの間	

1. 著者名 中谷伸生	4. 発行年 2020年
2. 出版社 関西大学東西学術研究所	5. 総ページ数 195～222
3. 書名 『東アジア圏における文化交渉の軌跡と展望』（関西大学東西学術研究所叢書第7号，井上克人編著），分担執筆：岡倉天心（寛三）についての寛書 新伝統主義・ガンダーラ美術・西洋との対決	

1. 著者名 陶 徳民	4. 発行年 2020年
2. 出版社 関西大学出版部	5. 総ページ数 総159
3. 書名 『松陰とペリー 下田密航をめぐる多言語的考察』関西大学東西学術研究所研究叢刊63	

1. 著者名 吾妻重二	4. 発行年 2020年
2. 出版社 戎光祥出版	5. 総ページ数 8～29, 238～259
3. 書名 江藤茂博・町泉寿郎編『漢学と漢学塾』（講座 近代日本と漢学 第2巻），分担執筆：東アジアの漢学文化と私塾・書院，泊園書院の近代	

1. 著者名 藤田高夫	4. 発行年 2020年
2. 出版社 戎光祥出版	5. 総ページ数 100～116
3. 書名 牧角悦子・町泉寿郎編『漢学と学芸』（講座 近代日本と漢学 第4巻），分担執筆：東洋史学の成立 日本における近代歴史学形成の一側面	

1. 著者名 有馬卓也	4. 発行年 2020年
2. 出版社 戎光祥出版	5. 総ページ数 47～63
3. 書名 江藤茂博・加藤国安編『漢学と教育』（講座 近代日本と漢学 第5巻），分担執筆：明治初期の教育と海外知識 岡本韋庵を中心に	

1. 著者名 長谷部剛	4. 発行年 2020年
2. 出版社 関西大学東西学術研究所	5. 総ページ数 総216
3. 書名 『日本古典文化の形成と受容』（関西大学東西学術研究所叢書第9号，編著）	

1. 著者名 長谷部剛	4. 発行年 2020年
2. 出版社 関西大学東西学術研究所	5. 総ページ数 31～53
3. 書名 『日本古典文化の形成と受容』（関西大学東西学術研究所叢書第9号，長谷部剛編著），分担執筆：藤澤南岳と明治漢詩壇 附：藤澤黄坡の従軍詩について	

1. 著者名 矢羽野隆男	4. 発行年 2018年
2. 出版社 ミネルヴァ書房	5. 総ページ数 11～22, 62～74
3. 書名 『教養としての中国古典』（湯浅邦弘編著），分担執筆：第一章『論語 孔子とその弟子たちとの名言集』，第四章『礼記 礼学の集大成』	

1. 著者名 吾妻重二	4. 発行年 2018年
2. 出版社 関西大学東西学術研究所（泊園記念会）	5. 総ページ数 50
3. 書名 『石濱純太郎没後50年記念 石濱純太郎とその学問・人脈』展観目録	

1. 著者名 吾妻重二	4. 発行年 2018年
2. 出版社 関西大学泊園記念会	5. 総ページ数 65
3. 書名 『石濱純太郎 記事集』（編集）	

1. 著者名 矢羽野隆男	4. 発行年 2018年
2. 出版社 汲古書院	5. 総ページ数 299～360
3. 書名 『懷徳堂研究 第二集』，竹田健二編著 分担執筆：第三部 第一章「並河寒泉の陵墓調査?幕末懷徳堂教授の活動」，第二章「幕末懷徳堂の情報環境 島津久光の率兵上洛を中心に」	

1. 著者名 藤田高夫	4. 発行年 2019年
2. 出版社 臨川書店	5. 総ページ数 87～105
3. 書名 『古代東アジアの文字文化と社会』（角谷常子編），分担執筆：「石刻による宣示 漢代石刻と「場所」」	

1. 著者名 吾妻重二	4. 発行年 2019年
2. 出版社 関西大学出版部	5. 総ページ数 348
3. 書名 『家礼文献集成 日本篇8』（編著）	

1. 著者名 陶徳民	4. 発行年 2019年
2. 出版社 関西大学出版部	5. 総ページ数 371
3. 書名 『西教東漸と中日事情 - 拝礼・尊厳・信念をめぐる文化交渉』	

1. 著者名 長谷部剛	4. 発行年 2019年
2. 出版社 関西大学出版部	5. 総ページ数 282
3. 書名 『杜甫詩文集の形成に関する文献学的研究』	

1. 著者名 太田剛	4. 発行年 2021年
2. 出版社 藤澤南岳先生作品展実行委員会	5. 総ページ数 76
3. 書名 『花待草舎収集 第一回 藤澤南岳先生作品展図録』	

1. 著者名 吾妻重二	4. 発行年 2021年
2. 出版社 関西大学東西学術研究所	5. 総ページ数 269
3. 書名 『「南岳百年祭」記念論文集』（吾妻重二編著，共著者9人〔町泉寿郎、山寺美紀子、長谷部剛、太田剛、吾妻重二、井上孝榮、横山俊一郎、陶徳民、増田周子〕）	

1. 著者名 吾妻重二	4. 発行年 2022年
2. 出版社 関西大学アジア・オープン・リサーチセンター	5. 総ページ数 345
3. 書名 『KU-ORCASが開くデジタル化時代の東アジア文化研究』（沈国威編集，共著者29人） 分担執筆：「泊園書院デジタルデータベースとその応用」	

〔産業財産権〕

〔その他〕

泊園書院 <a href="https://www.kansai-u.ac.jp/hakuen/">https://www.kansai-u.ac.jp/hakuen/</a> 泊園文庫デジタルアーカイブ <a href="https://www.iiif.ku-orcas.kansai-u.ac.jp/hakuen_bunko/about">https://www.iiif.ku-orcas.kansai-u.ac.jp/hakuen_bunko/about</a> 泊園印章デジタルアーカイブ <a href="https://www.iiif.ku-orcas.kansai-u.ac.jp/hakuen_yinpu/about">https://www.iiif.ku-orcas.kansai-u.ac.jp/hakuen_yinpu/about</a> 関西大学東西学術研究所 <a href="http://www.kansai-u.ac.jp/Tozaiken/index.html">http://www.kansai-u.ac.jp/Tozaiken/index.html</a> 関西大学アジア・オープン・リサーチセンター（KU-ORCAS） <a href="https://www.ku-orcas.kansai-u.ac.jp/">https://www.ku-orcas.kansai-u.ac.jp/</a> 関西大学学術情報システム 吾妻重二 <a href="http://gakujo.kansai-u.ac.jp/profile/ja/xa1fdb20Qb1cfebf6T5daa0bsI.html">http://gakujo.kansai-u.ac.jp/profile/ja/xa1fdb20Qb1cfebf6T5daa0bsI.html</a>
---

6. 研究組織			
	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究 分担者	有馬 卓也  (Arima Takuya)  (10232068)	広島大学・人間社会科学研究科(文)・教授   (15401)	

## 6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	橋本 昭典 (Hashimoto Akinori) (20379522)	奈良教育大学・国語教育講座・教授  (14601)	
研究分担者	太田 剛 (Ota Tsuyoshi) (30461362)	四国大学・文学部・教授  (36101)	
研究分担者	陶 徳民 (Tou Tokumin) (40288791)	関西大学・文学部・教授  (34416)	
研究分担者	長谷部 剛 (Hasebe Tsuyoshi) (50308152)	関西大学・文学部・教授  (34416)	
研究分担者	松井 真希子 (Matsui Makiko) (70756436)	奈良工業高等専門学校・一般教科・講師  (54601)	
研究分担者	山寺 美紀子 (Yamadera Mikiko) (90601097)	関西大学・東西学術研究所・非常勤研究員  (34416)	
研究分担者	横山 俊一郎 (Yokoyama Shunichiro) (60759827)	関西大学・東西学術研究所・非常勤研究員  (34416)	
研究分担者	中谷 伸生 (Nakatani Nobuo) (90247891)	関西大学・東西学術研究所・非常勤研究員  (34416)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	藤田 高夫  (Fujita Takao)  (90298836)	関西大学・文学部・教授    (34416)	
研究分担者	矢羽野 隆男  (Yahano Takao)  (80248046)	四天王寺大学・人文社会学部・教授    (34420)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関